

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

9/10

アカデミック英語 No.6

英語で数値・データを引用する —— according to・as shown in・figuresの使い方

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合
否判定を行ってきた当事者です。英語記述で「データがあります」という曖昧な言及しかできない答案と、according to・as
shown in・figuresを使ってデータを正確に引用した答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきた。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 英語でデータを引用する記述問題

東京大学・慶應義塾大学医学部の英語では、グラフや表のデータを英語で引用しながら論述する問題が出題される。According to Figure 1・As shown in Table 2・The data indicate thatなどの引用表現を使える受験生は、採点者（大学教員）に「科学的論述力がある」と評価される。

② 数値を使った意見論述問題

「提示されたデータを引用しながら自分の立場を論じよ」という問題は、医学部・理工系推薦入試で出題される。数値を正確に引用できる受験生は、「データがあります」という漠然とした答案との差が明確になる。

③ 英語プレゼン・口頭試問

「このグラフを英語で説明してください」という課題は、医学部・理工系推薦入試で出題される。As shown in this graph・According to these resultsを使って説明できる受験生は試験官（大学教員）に際立つ。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	英語でデータを引用した論述問題	引用表現の習熟が「科学的論述力」を採点者に示す
東京科学大学・順天堂大学 医学部	英語プレゼン・グラフ説明問題	as shown in・figuresの使い方が即答を可能にする
昭和大学・東邦大学 医学部	英語で意見を論述する問題	数値引用の技術が漠然とした答案との差を生む
医学部・理工系推薦（全般）	「このグラフを英語で説明せよ」型の口頭試問	採点者（大学教員）に科学的論述力を即示せる

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

英語論述でデータを「データがあります」という漠然とした言及しかできない受験生は、採点者が求める「科学的論述力」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）according to・as shown in・figuresを使って数値・データを正確に引用できる、（2）データを根拠にした英語論述ができる、（3）英語プレゼン・口頭試問でグラフを英語で即座に説明できる、という変化が起きる。

何十年も英語の答案を採点してきた清光学院の講師陣は、英語論述問題で「漠然とした言及の答案」と「データを正確に引用した答案」の評価の差を採点者として知っている。